

令和2年度

公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事業計画書

自 令和2年4月 1日

至 令和3年3月31日

公益財団法人目黒区芸術文化振興財団

令和2年度 公益財団法人目黒区芸術文化振興財団 事業計画

はじめに

令和2年度(2020年度)は、公益財団法人として10年目を迎えます。

さらに、文化ホールと美術館の指定管理も、4期目の2年目となりました。両施設の管理と事業運営に対する高い評価に甘んずることなく、区民に身近な文化施設として愛され親しまれるよう、今後とも、質の高い事業の展開に努めてまいります。

ところで、両施設の築年数は美術館が32年、文化ホールは17年が経過し、設備等の更新が課題となっております。文化ホールのうち大ホールは最近の2年間で音響・照明・舞台機構などの更新を終え、小ホールも今年度中には行う予定です。美術館は、所在する目黒区民センター全体の見直しの中での検討対象となっており、これまでの美術館の取組や今後の課題を示しながら、目黒区との意見交換を進めているところでございます。

当財団は、区の財政支援も得ながら、芸術文化活動の担い手の育成や団体等への支援に取り組んでおりますが、これらの活動が年間を通じて円滑に遂行されるためには、優れた人材の確保を図りながら、事業の企画立案と施設の管理に努め、併せて、公益法人としての責務も果たさなければなりません。平成29年度に公益法人法が求める「¹収支相償の原則」を初めて達成しましたが、一方で、中期的にみた収支の見通しは厳しさを増しております。財団経営の安定と事業の充実を両立させるため、利用料金制のメリットも生かしつつ、他団体の助成金や賛助金などによる収入の確保に努めながら、魅力ある事業の展開に取り組むことが、当財団に課せられた責務でもあります。

今年度の事業展開に当たっては、両施設において、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催にちなむ事業を行うほか、区の芸術文化振興プランを基本としつつ、平成29年に改正された文化芸術基本法が謳う様々な芸術活動に区民の求めにも応じながら、チャレンジしてまいりたいと考えております。

公益を目的とする財団として、「収支相償の原則」を守りつつ、また、指定管理者としてコストの抑制にも留意しながら、当財団ならではの事業を展開し、区民の皆様のご期待に応えていく覚悟です。

¹収支相償の原則；公益目的事業に係る収入が適正な費用を超えないと見込まれること
(認定法第5条第6号)

目黒区文化ホール

1 事業方針

(1) 鑑賞事業

○ 主催事業（5事業）

様々な分野の優れた公演を通じて芸術文化に接する機会を区民に提供するために、²財団の自主財源を活用した事業

○ 共催事業（10事業）

多彩な活動を行っている主催者との連携事業

主催・共催事業とも、各年代層の要望に沿っていることや、公演のジャンルが偏らないことなどに留意するほか、美術館と連携して展覧会に合わせたコンサートを実施します。

(2) 地域の芸術文化・支援事業

豊かで創造性のある区民文化の醸成と魅力のある地域づくりを目指し、地域の多様な芸術文化団体の活動に対して、施設利用（18事業）や広報等の支援をしております。

また、区補助金を活用して、地震を想定した9回目となる「避難訓練コンサート」を実施します。

(3) 体験・普及事業

区補助金や他団体助成金、自主財源を充てながら、次代を担う子どもたちの育成事業や³社会包摂の視点も踏まえた事業等に積極的に取り組みます。

○ アウトリーチプログラム

区立小中学校（2006年～）

東京医療センター（2013年～）

区立特別養護老人ホーム3施設（2015年～）

心身障害者センター、区立幼稚園、区立こども園（2016年～）

○ ワークショップ事業

子どもから大人まで、それぞれの年代を対象に実施

(4) 指定管理事業

区の指定管理事業として、東京2020オリンピック・パラリンピ

²財団の自主財源；利用料金から施設の維持管理に充てる費用を除いた収入

³社会包摂；芸術文化に備わる特性を活かし、社会的に孤立や困難を抱えている人々に対して社会参加の機会を開き、社会的課題の緩和や解決に取り組む継続的活動

ック競技大会に係る文化事業の一環として、⁴区民参加型の「2020第九公演」を実施

(5) 受託事業

- 目黒区文化祭（55回目）
目黒区文化団体連合会や区と協力しながら民謡、合唱、洋舞をはじめ様々な芸術文化団体の活動を支援
- めぐるオータムアート
目黒区美術館とともに、音楽と美術を合わせたプログラムを実施
- 東日本大震災復興支援コンサート
目黒区の友好都市でもある宮城県気仙沼市への復興支援事業

(6) 貸館事業

区民をはじめ多くの皆様にご利用いただく貸館事業については、常に公平・公正や安全・安心に留意しながら、施設の貸し出しと設備の保守管理に努めてまいります。

また、情報コーナーや受付窓口に、各種チラシなどを備えて公演等の情報提供を行ってまいります。

2 運営方針

- (1) “響きの良さ”などホールの魅力について広く周知するとともに、芸術文化の鑑賞、創造、発信の場となり、より一層、地域に根差したホールとして親しまれるように、地域コミュニティに寄与する取り組みを進めます。
- (2) 各種事業の実施に当たっては、他の文化ホールや実演芸術団体と連携・協力し、文化ホールの特性を生かして創造性・発信性のある事業を実施するとともに、区民の芸術文化に対する関心を高め、活動意欲が発揮できる機会を提供するために参加型事業の充実に努めます。
- (3) 「アウトリーチプログラム」については、区、教育委員会ははじめ、実施する施設との連携を密にしながら、音楽を通して癒しや楽しさが感じられることを目指します。なかでも児童・生徒を対象にしたプログラムについては、芸術性の高い音楽等を通じて豊かな感性が育まれるように取り組みます。

⁴区民参加型；「合唱」など区民の知識・技能・意欲を発揮する場の提供

なお、「アウトリーチプログラム」に派遣するアーティストについては、文化ホールでコンサートを実施した演奏家に依頼するなど、文化ホール活動とも連携した運営に努めます。

- (4) 「目黒区文化祭」、「めぐろオータムアート」や「東日本大震災復興支援コンサート」については、行政や美術館との連携を図り、区民の幅広い芸術文化活動の支援に努めるとともに、区民が芸術文化の活動に出会い、楽しむことのできる機会を提供します。
- (5) ホールの来館者など利用者の様々なニーズを的確に把握し、集客力を上げていくために、情報紙「アートレター」の更なる充実や、SNS（ツイッター、フェイスブックなどのソーシャルネットワーク）など時代に即した手法も活用し、広報活動や広告掲載等に努めてまいります。
- (6) 文化庁や東京都からの助成のみならず民間助成事業等の活用や、法人及び個人からの賛助会員の拡大に努めるとともに、企業からの協賛、広告料の獲得などに積極的に取り組んで収入の確保に努め、収支のバランスにも留意して事業を展開します。
- (7) ホールの利用枠については、これまでの文化ホールにおける一般利用の実績や利用料金制の下での収益も踏まえ、行政利用と財団利用を合わせて概ね大ホールが25%、小ホールが15%を目途に運営してまいります。さらに、ホールの利用率の向上のため、周知方法等の工夫に努めます。

目黒区美術館

1 事業方針

(1) 展覧会事業

○ 自主企画展 3 展

区民が親しみを感じ、特色のある展覧会

○ 指定管理事業 2 展

美術館所蔵作品展、めぐろの子どもたち展

○ 受託事業 1 展

東京 2020 オリンピック・パラリンピック 競技大会に係る事業の一環として「めぐろの障がい者アート展」を本館ロビー、ワークショップ室を使用して開催

○ 年間の開館日数及び年間入館者数目標

区展を加え 200 日程度

6 展で 3 万 1 千 8 百人

観覧料の区民向けの特典について、引き続き区と協議してまいります。

(2) 教育普及事業

美術の普及や美術作品、地域の文化財への理解を深めるとともに、「観る」、「創る」、「考える」などの活動や交流を通して感性が育まれる事業として、例年行っている夏・春のワークショップをはじめ、展覧会に関連したワークショップ、ギャラリーツアー、講演会等を実施します。

(3) 調査研究

目黒に息づく様々な文化資源の調査研究を深めてまいります。また、個々の学芸員の専門性を生かしながら、引き続き、美術館の事業や運営を見据えた、より実践的な学芸活動を進めてまいります。

こうした調査研究の成果を土台にして、魅力ある企画展を催し、美術作品の豊かな表現を区民に伝えてまいります。

(4) 区民等の芸術文化活動の支援

区内美術団体に対して、本館及び区民ギャラリーを提供するなど、区民の芸術文化活動を支援します。

また、美術館と地域との関わりを深めていくため、地元商店街、区内の美術館や博物館などとの協力のほか、区・他団体等との連携も図り

ながら芸術文化活動の推進に努めます。

(5) 区民ギャラリーの運営

公平で公正な利用に供するため、抽選会の運用などに留意しながら、展示や撤去時等の安全性を確保し、区民等の創作の発表や交流の場として、区民の誰もが気軽に利用できるよう、適正な運営に努めます。

また、引き続き、空き利用の料金設定等に係る区との協議やPR等を工夫しながら新規利用者の増加を図ってまいります。

さらに、安全面などから課題でもあった、展示台の軽量化及び⁵有孔ボードの設置に着手し、展示のし易さをアピールしながら、新たな利用者の確保につなげてまいります。

2 運営方針

- (1) 事業の実施にあたっては、必要最小限の経費で予め作成した年間事業スケジュールに沿って実施します。また、他団体助成金の獲得など収入の確保に積極的に取り組むとともに、事業の効果や経済性も考慮しながら事業ごとの収支バランスにも留意してまいります。
- (2) 広報の一環として、ホームページのほかSNS（ツイッター、フェイスブックなどのソーシャルネットワーク）などを活用した情報発信について、より有効性が増すように努めてまいります。また、無料Wi-Fi環境を活かしたスペシャルコンテンツも継続して運用してまいります。
- (3) ギャラリーツアー等は、校長会や図工部会など学校教職員等との検討を深め協議しながら、子どもの鑑賞活動機会の拡充が図れるよう努めます。
- (4) 「めぐろオータムアート」等の実施にあたっては、文化ホールや区の芸術文化推進事業と連携を図り、区民の幅広い芸術文化活動の充実に寄与するよう努めます。

⁵有孔ボード；作品の展示に使用する、等間隔で小さな孔の開いた合板等

令和2年度 目黒区文化ホール 事業計画

I 自主事業

(単位:円)

1 鑑賞事業

(16事業・61公演)

※名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)

区分	事業・公演						支出	収入		自主財源 (収入-支出)	
	番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容	公演数		チケット・参加費等	区補助金		
主催	伝統芸能	1	1月	大ホール	○ 新春落語	新春に行う恒例の落語公演。	1	3,311,266	4,071,375	0	760,109
	クラシック	2	1月	大ホール	○ フレッシュ名曲コンサート	新進気鋭のアーティストをソリストに迎えるクラシックコンサート。本公演前に来場者拡大を目的としたプレコンサートを実施。	2	7,765,820	* 5,989,840	0	△ 1,775,980
		3	11月	小ホール	☆ 郷古廉+横坂源+加藤洋之 The TRIO	著名なアーティストによる室内楽公演。	1	1,269,880	548,000	0	△ 721,880
		4	5月	小ホール	☆ 東京六人組	在京オーケストラの首席奏者など実力派アーティストによる室内楽公演。	1	1,032,578	580,375	0	△ 452,203
	ポピュラー	5	秋頃	小ホール	○ JAZZ公演	著名なアーティストによるJAZZ公演。	1	830,700	510,000	0	△ 320,700
	その他	6	未定	美術館	○ 美術館連携公演	美術館事業との連携公演。	1	403,800	120,000	0	△ 283,800
			0	0	○ 次年度準備	次年度準備経費。		100,000	0	0	△ 100,000
共催	バレエ	1	8月	大・小ホール	○ 東京バレエ団「第8回めぐろバレエ祭り」	区内にある東京バレエ団主催による大ホール公演と小ホール等での各種ワークショップやイベント。	40	32,400	32,400	0	0
		2	12月	大ホール	☆ キエフ・バレエ	(株)光藍社主催によるタラス・シェフチェンコ記念ウクライナ国立バレエ団公演。	1	100,440	100,440	0	0
	クラシック	3	11月	小ホール	☆ レクチャー付室内楽公演	(一社)music dialogue主催による、レクチャー付室内楽公演。	2	12,420	12,420	0	0
		4	8月	大ホール	★ 加藤訓子 クセナキス・プロジェクト(仮称)	NPO法人芸術文化ワークス主催によるパーカッションスト加藤訓子らによる公演。	1	8,100	8,100	0	0
	ダンス	5	10月	大ホール	☆ コンドルズ遊育計画2020	(株)NHKエデュケーショナル主催の親子向けダンスイベント。	2	17,280	17,280	0	0
	ポピュラー	6	10月	大・小ホール	○ ジャズ・ワールドビート2020	(株)ブランクトン主催のジャズフェスティバル。	2	52,380	52,380	0	0
		7	11月	大ホール	○ ポピュラーコンサート	東京労音主催による声楽家・俳優の上原理生コンサート。	1	70,200	70,200	0	0
		8	1月	大ホール	○ デキシールランド・ジャズ・ジャンボリー	(一社)日本ポピュラー音楽協会主催によるジャズコンサート。	1	18,495	18,495	0	0
		9	1月	大ホール	★ ローマ・イタリア管弦楽団 映画音楽名曲選	インプレサリオ東京主催による映画音楽コンサート。	1	19,872	19,872	0	0
	伝統芸能	10	春、夏、秋	大ホール	○ 落語	年3回の恒例の落語公演。	3	226,800	226,800	0	0
合計	16					61	15,272,431	12,377,977	0	△ 2,894,454	

* (公財)東京都歴史文化財団から助成金290万円(予定)を含む。

2 地域の芸術文化・支援事業

(18事業・23公演)

(単位:円)

区分	事業・公演						支出	収入		自主財源 (収入－支出)	
	番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容	公演数		チケット・ 参加費等	区補助金		
主催	地域支援	1	4月	大ホール	○ 第9回避難訓練コンサート	公演中に避難訓練を行う企画。	1	551,000	0	551,000	0
	新進支援	2	冬頃	小ホール	○ 未来の音コンサート	新進気鋭のアーティストによるコンサート。	2	1,392,400	800,000	0	△ 592,400
共催	団体支援	1	4月・3月	大ホール	○ 全国舞踊コンクール(決選・予選)	東京新聞主催によるバレエ・舞踊・邦舞のコンクール。	1	73,000	0	0	△ 73,000
		2	6月	大ホール	○ 全国舞踊コンクール入賞者アンコール公演	東京新聞主催によるバレエ・舞踊・邦舞のコンクール入賞者による公演。	1	3,500	3,500	0	0
		3	6月	大ホール	○ 東京新聞児童舞踊合同公演	東京新聞主催による、児童舞踊部門だけの公演。	1	1,000	1,000	0	0
		4	4月	大ホール	○ 東山オーケストラ演奏会 *1	目黒区東山オーケストラ主催による演奏会。パーシモン芸術文化ネットワークの1団体。	1	0	0	0	0
		5	5月	中目黒GT プラザホール	○ 東京インターアーツ目黒コンサート	東京インターアーツ目黒主催による現代音楽と邦楽のコンサート。	2	900	900	0	0
		6	11月	大ホール	○ 目黒区民交響楽団 定期演奏会 *1	目黒区民交響楽団主催による定期演奏会。パーシモン芸術文化ネットワークの1団体。	1	5,000	5,000	0	0
		7	6月	大ホール	○ 目黒吹奏楽団 定期演奏会 *1	目黒吹奏楽団主催による定期演奏会。パーシモン芸術文化ネットワークの1団体。	1	0	0	0	0
		8	7月	大ホール	○ 東京マンドリン宮田楽団 定期演奏会	東京マンドリン宮田楽団主催による定期演奏会。	1	30,000	30,000	0	0
		9	6月	小ホール	○ 伝統文化に親しむ(狂言等)	(公財)北野生涯教育振興会による伝統文化公演。	2	0	0	0	0
		10	3月	小ホール	○ 北野財団主催 チャリティーコンサート	(公財)北野生涯教育振興会によるチャリティーコンサート。公募で集まった区民が合唱団員として出演。	1	3,400	3,400	0	0
		11	7月	大・小ホール	○ 第18回パーシモンほたるまつり	都立大学商店街等実行委員会主催の区民キャンパスで実施する地域イベント。	1	300,000	0	150,000	△ 150,000
		12	5月	大ホール	○ ユネスココンサート	目黒ユネスコ協会主催による演奏会。	1	8,000	8,000	0	0
		13	10月	大ホール	○ めぐる童謡コンサート *1	童謡の里めぐろ保存会主催による童謡・合唱等のコンサート。パーシモン芸術文化ネットワークの1団体。	1	8,000	8,000	0	0
		14	12月	小ホール	○ 身体で聴こう音楽会	パイオニア(株)主催による聴覚障害者等を対象としたコンサート。	1	0	0	0	0
		15	4月・3月	大ホール	○ めぐるクラシックセレクション	目黒区クラシック音楽家協会主催によるコンサート(昨年度は工事のため、実施が出来なかった)。	2	2,200	2,200	0	0
子育て支援	16	3月	小ホール	○ 親子のためのふれあいコンサート	東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団主催のファミリーコンサート。	2	7,500	7,500	0	0	
合計	18					23	2,385,900	869,500	701,000	△ 815,400	

*1 パーシモン芸術文化ネットワークとは、芸術文化活動を通して活動団体の交流・連携・協力を深め、目黒区の芸術文化の振興を進めることを目的とした団体

3 体験・普及事業

(3事業・38公演)

(単位:円)

区分	事業・公演						支出	収入		自主財源 (収入－支出)	
	番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容	公演数		チケット・ 参加費等	区補助金		
主催	ワークショップ	1	6、7月	小ホール	○ 子ども向けワークショップ(演劇、ダンス)	子どもを対象にしたワークショップ。	2	1,701,600	* 1,525,880	0	△ 175,720
		2	未定	小ホール等	○ 大人のためのワークショップ	大人を対象にしたワークショップ。	1	1,217,500	138,400	0	△ 1,079,100
	アウトリーチ	3	年間	小中学校 等	○ アウトリーチプログラム	区内小中学校等にアーティストが出向き、子どもたち等との交流を実施。	35	5,019,000	0	3,800,000	△ 1,219,000
合計		3				38	7,938,100	1,664,280	3,800,000	△ 2,473,820	

* (公財)北野生涯教育振興会から協賛金140万円(予定)を含む

公演等事業 (自主事業) 合計	25,596,431	14,911,757	4,501,000	△ 6,183,674
-----------------	------------	------------	-----------	-------------

4 自主事業運営経費

(単位:円)

区分	名称 (○:継続 ★:新規)	内容	支出	収入		自主財源 (収入－支出)
				チケット・ 参加費等	区補助金	
自主事業 運営経費	○ チケット手数料及び委託	チケット購入に係るシステム委託及び手数料。	785,200	0	500,000	△ 285,200
	○ 都立大駅前ポスター掲出委託	都立大学駅前に設置している看板掲出料。	486,400	0	477,560	△ 8,840
	○ ボランティア活動の支援	ホールの事業等のスタッフとして活動を支援する。	32,500	0	0	△ 32,500
	○ 賛助会運営	ホール賛助会(法人・個人)の運営。	20,500	778,000	0	757,500
	○ アートレター	財団情報紙である「アートレター」の作成・配布。	5,723,200	862,400	2,098,800	△ 2,762,000
	○ その他全体広報	ホール全体等の広報、記録等。	200,000	0	0	△ 200,000
合計			7,247,800	1,640,400	3,076,360	△ 2,531,040

(37事業・122公演)	ホール事業経費 総合計(公演事業＋運営経費)	32,844,231	16,552,157	7,577,360	△ 8,714,714
--------------	------------------------	------------	------------	-----------	-------------

II 指定管理事業

(単位:円)

区分	事業・公演					公演数	支出	収入		自主財源 (収入－支出)
	番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容			チケット・ 参加費等	指定管理料	
指定管理事業	1	6月	大ホール	☆ めぐるで第九2020	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に関わる文化の祭典として、区民参加型の第九公演を実施する。	1	9,612,000	4,840,000	1,257,710	△ 3,514,290
合計	1					1	9,612,000	4,840,000	1,257,710	△ 3,514,290

ホール事業経費＋指定管理事業費	42,456,231	21,392,157	8,835,070	△ 12,229,004
-----------------	------------	------------	-----------	--------------

公演等事業(自主事業)＋指定管理事業費(受託事業)	35,208,431	19,751,757	5,758,710	△ 9,697,964
---------------------------	------------	------------	-----------	-------------

III 受託事業

(単位:円)

区分	事業・公演					公演数	支出	収入		自主財源 (収入－支出)
	番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容			チケット・ 参加費等	区委託料	
受託事業	1	春・秋	大・小ホール等	○ 第55回目黒区文化祭	日舞、合唱、民踊、華茶道、邦楽、郷土、洋舞、吟剣、自主グループ、演劇、謡曲、民謡、音楽、ユネスコの各団体による公演。	14	1,963,843	0	1,963,843	0
	2	秋頃	大・小ホール等	○ めぐるオータムアート	目黒区の特徴を生かし、「聴く、観る、知る、創造する、育てる」の視点から、たくさんの人に芸術文化に接し、親しんでもらうためのイベント。	2	766,000	80,000	686,000	0
	3	3月	大・小ホール	☆ 東日本大震災復興支援コンサート	目黒区と友好都市である宮城県気仙沼市等への東日本大震災復興支援事業(震災後10年)。	1	4,100,000	* 2,300,000	1,800,000	0
合計	3					17	6,829,843	2,380,000	4,449,843	0

* (一財)地域創造から助成金170万円(内定)を含む。

ホール事業経費＋指定管理事業費＋受託事業費	49,286,074	23,772,157	13,284,913	△ 12,229,004
-----------------------	------------	------------	------------	--------------

令和2年度 目黒区美術館 事業計画

【自主事業・展覧会】

(単位:円)

NO	展覧会名	期間(予定)	内 容	支出	収入		自主財源 (収入-支出)
					展示事業等	区補助金	
1	あそぶひと一人形と子どもの暮らし	4月22日(水)～ 6月14日(日) (47日間)	当館では開館以来、良質の玩具(トイ)を収集し、教育普及のプログラムに活用し、過去に3回の玩具の展覧会も開催し、好評を得てきました。このたびは、主にドイツ・スイスを中心としたヨーロッパの人形と、人形にまつわる玩具を取り上げます。乳児向けの感触の良いぬいぐるみや抱き人形、そして幼児向けの人形の家(ドールハウス)、指人形や操り人形などを紹介。保育や教育的な視点からと、素材や製作工程、製作者の人形製作への思い、人形が生まれてきた背景や歴史などからも考察を試みます。	9,500,000	4,700,000	0	-4,800,000
2	区立美術館ネットワーク関連事業 「包むー日本の伝統パッケージ」展 (仮称)	7月11日(土)～ 8月30日(日) (44日間)	当館では、日本のパッケージ(包装・容器)の収集と研究で、「TSUTSUMU(包む)」という言葉とともに大きな足跡を残した岡秀行が収集した資料群を紹介する「5つの卵はいかにして包まれたか 日本の伝統パッケージ」展を1988年に開催しました。このコレクションとコンセプトを受け継いだ当館では、2011年にも「包むー日本の伝統パッケージ展」を開催し、好評を得ました。木、藁、土などの自然素材で作られ、生活の知恵や機能美も有したパッケージに、日本人の美意識や包む心を見出した岡の視点を交えながら、今日ではもう手に入らない貴重なパッケージも含む、約400点で、日本の心を再認識する場を目指します。	11,250,000	5,350,000	5,900,000	0
3	「前田家の近代美術 コレクション」展(仮称)	令和3年 2月13日(土)～ 3月21日(日) (32日間)	本郷にある東京大学の赤門は、元は加賀藩前田家の大名屋敷の門でした。明治以降に爵位を得た前田家は、第16代利為(としなり)の時代、東京大学との土地の交換で、邸宅を本郷から目黒区の駒場に移します。利為は軍人として活躍した一方で、現在も駒場に残る和館と洋館の邸宅を飾るなどの目的から、数多くの優れた美術作品を収集しました。本展では、利為の生涯と合わせて、利為の収集した近代美術作品を紹介します。近代にあっても最後まで侍として生きた利為の、美意識の結晶であるコレクションをお楽しみ下さい。	9,290,000	4,340,000	300,000	-4,650,000
4	次年度準備経費	—	主に次年度4月開催展覧会用準備経費(ポスター、チラシ、チケット制作や通信経費等)	1,280,000	0	0	-1,280,000
				31,320,000	14,390,000	6,200,000	-10,730,000

【指定管理事業・展覧会】

(単位:円)

NO	展覧会名	期間(予定)	内 容	支出	収入		自主財源 (収入-支出)
					展示事業等	指定管理料	
1	「目黒区美術館コレクション展	10月24日(土)～ 11月29日(日) (32日間)	当館は、都内で6番目の区立美術館として開館しました。区民にとって身近な美術館であることを目指す当館では、開館以降収集してきたコレクションから名品を紹介します。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催年にちなみ、開催地として世界から注目の集まる街「東京」と、当館のある「目黒」を取り上げます。生誕100年を迎える目黒ゆかりのデザイナー、秋岡芳夫をはじめ、地元文化に迫ります。	3,942,000	1,472,000	2,470,000	0
2	めぐろの子どもたち展	令和3年 1月16日(土)～ 1月31日(日) (14日間)	目黒区立の幼稚園、小学校、中学校で学ぶ子どもたちが、授業中に制作した図画工作・美術・書道などの作品を展示し、子どもたちの素直な目を通して発見された驚きや、美しいものになりたいという意欲など、心の動きが豊かに表現された力作を紹介します。併せて交流のある海外都市の子どもたちが描いた作品も展示します。	1,790,000	0	1,790,000	0
				5,732,000	1,472,000	4,260,000	0

【自主事業・教育普及】

(単位:円)

NO	事業名	名称ほか	時期(予定)	募集対象	回数	内容	支出	収入		自主財源 (収入-支出)
								展示事業等	区補助金	
1	ワークショップ(1) 夏	つつむ(仮称)	7月～9月	子ども～大人	4コース程度	「包むー日本の伝統パッケージ」展に関連した内容を予定。	690,000	210,000	480,000	0
2	ワークショップ(2) 春	美術を見る・知る (仮称)	令和2年 2月～3月	子ども～大人	3コース程度	美術全般についての美術講座を予定し、美術の基本に関するテーマを設定します。	535,000	165,000	370,000	0
3	目黒区総合庁舎建築ガイドツアー		4月～5月	中学生～大人	4回	村野藤吾設計の目黒区総合庁舎の見どころを解説する人気の庁舎建築ツアー。国内各地の村野建築ツアーなど関係する美術館等相互の広報も前年に引き続き予定していきます。	340,000	340,000	0	0
4	トイコレクション プログラム	アウトリーチ	5月、11月	乳幼児～大人	2回	トイコレクションボランティアチームが、児童館で展開するアウトリーチプログラム。テーマとストーリーをつくり、児童館に来る子どもたちと遊び美術館を紹介します。トイの日は、美術館で実施します。				
		トイの日	7月	乳幼児～大人	2日					
5	大人のための 美術カフェ	各展覧会	各会期中	高校生以上	4回	平成26年度から始めた当館学芸員による、大人向けのゆるやかな美術談義。ラウンジ等で展覧会担当学芸員が担当した展覧会や美術に関するエピソードなど自由にテーマを設定してお話します。				
6	ギャラリーツアー	各展覧会	各会期中	小中学校	複数回	区内、近隣小中学校の鑑賞教室を受け入れていきます。				
7	デザインキャンプ		夏以降	高校生以上	1回	ハーマンミラーとのコラボレーション。デザインに関するワークショップ。今回で10回目の開催となります。				
8	美術講座	館長による講座	夏以降	高校生以上	3回程度	目黒区美術館館長による美術に関する連続講座等を開催します。				

※ 事業費については、主に参加料収入を充てます。

※ 各展覧会においては、関連催事を予定していきます。

【受託事業・展覧会、教育普及】

(単位:円)

NO	展覧会名・事業名	時期(予定)	募集対象	回数	内容	支出	収入		自主財源 (収入-支出)	
							展示事業等	区委託料		
1	障がいのあるアーティストによる作品展 日々のよこび2020	11月10日(火)～ 11月29日(日) (18日間)	—	—	目黒区内の障がい者通所施設を中心に、区内在住の障がいのある方が作った作品を紹介する予定です。	4,200,000	0	4,200,000	0	
2	めぐろオータムアート	秋頃	未定	未定	目黒界隈の建築を見るツアー「建築めぐり塾」、家族で美術と美術館に親しんでいただくことのワークショップ。パーシモンホールとの共同企画で、音楽と美術に関する催事を行います。	184,000	12,000	172,000	0	
							4,384,000	12,000	4,372,000	0

1) 自主グループ展 4月

《後援事業》(区民ギャラリー)※日程については予定

1) 目黒区書作家協会展 5月

2) 目黒区美術家協会展 6月

3) 目黒区美芸作家協会展 令和3年3月

《協力事業～主催;目黒区民作品展実行委員会》※日程については予定

1) 区展(区民作品展) 9月16日(水)～9月27日(日)(11日間)